

## 愛媛県議会報告書

第346回 (平成28年2月) 定例会など



納税者が納得出来る  
税金の使い道を考えた

検証と確認

vol.5

きくちのぶひで 伸英

愛媛県議会議員 (松山市・上浮穴郡) のぶひで



五年前の三月。未曾有の災害に対し  
彼らが懸命に挑んだことを私たちは決して忘れない。

## 自衛隊 ● 表敬

日々の厳しい訓練が日本を守っている。

あの日は、愛媛でも、まだ寒さの残る日でした。午後二時四十分。東日本が揺れました。自衛隊の方々、被災した名も知らぬ人のために昼夜を問わず全力で活動したのです。国を守るこの重大さと深い感謝の念を持って表敬してまいりました。



文教警察委員会、地方創生・人口問題調査特別委員会、さらには各種議連にて今年度も各地の視察に伺いました。

その一つ広島がん高精度放射線治療センターは広島県が設置し、一般社団法人広島県医師会が運営する医療機関で、増加するがん患者さんに対して治療をより高度により優しく最善の方法を提供されていました。

また、高品質商品とユニークな販売手法で年間100万人の集客を誇る熊本県の株式会社コッコファーム。たまごや鶏肉、菓子等の自社製品を販売し、養鶏の6次産業化に向けて先進的な取り組みを続けるとともに、生産者と消費者を結びつける場として、地元生産者200軒以上とのネットワークを築き、高齢化が進む中間山地域での雇用創出で地域活性化に大きく貢献されており、見習う点が多々ありました。

## ● 視察



愛媛県議会議員 (松山市・上浮穴郡選出・2期目)

## 菊池伸英

きくちのぶひで

昭和39年(1964年)10月13日生(51歳)  
文教警察委員、  
地方創生・人口問題調査特別委員  
会派：無所属 所属政党：自由民主党

# 愛媛県行政を 真剣にチェック 議会質問

## 海外旅行者を視野に入れた 広域連携の観光を目指して



菊池伸英Q. 本県ならではの「食」をキーワードにした観光振興に、今後どのように取り組んでいくのか。

A. 答弁(抜粋) H.P「愛媛いいもの図鑑」や東京の「せとうち旬彩館」等を通じて、愛媛の食の魅力を積極的に発信している。南予博でも食をテーマに掲げている。今後とも食を活用した愛媛観光の振興に取り組む。

菊池伸英Q. 四国全域をサイクリングやアイランドとする構想の将来像はどのようなものか。観光面での近隣県との連携に、今後どのように取り組んでいくのか。

A. 答弁(抜粋) II 県では、「サイクリングパラダイス愛媛」の次なるステップとして、来年度は、中国地方の「やまなみ街道」と「しまなみ海道」の広島・島根・鳥取の3県、南予博も活用した大分県との連携、今後とも近隣県との更なる連携を図りながら、一層の観光客誘致に繋げることを目指している。



## 行政に今こそ求められる政策予算の

# 集中と選択



し、重点化や見直しに努めている。さらに民間有識者による外部評価を導入し、県民の視点や専門的見地からの意見等を踏まえ、利用実績が低下した建設業振興資金貸付金の縮小や、入居率の低い職員住宅の廃止などの見直しを行い、今後とも、評価結果を事務事業の見直しや予算編成に適切に反映させる。

菊池伸英Q. 今回の予算編成において「スクラップアンドビルド」にどう取り組んだのか。各種事業の内容見直しにおいて、どのような効果検証を実施しているのか。

A. 県の答弁(抜粋) II 予算は依然厳しく、先行き不透明な財政状況を踏まえ、事務事業をゼロベースから見直し財源の選択と集中の徹底を図った。また、国補助金や民間資金の活用等により財源を捻出し、防災・減災強化や愛媛県に重点的に投入した。これまでも営業活動の展開や自転車新文化の推進など二重行政の解消や相乗効果のある様々な分野積極的に取り組んでいる。行政評価システムも導入し、全ての事務事業についても、数値目標を用いて、必要性・有効性・効率性の観点から自己評価

菊池伸英Q. 県有財産管理の適正化に向けて、どのように取り組んでいるのか。国の海上技術安全研究所の一部の今治市への誘致見通しは。また、今後とも国機関の移転誘致を推進してほしいがどうか。

A. 答弁(抜粋) II 県有施設は、老朽化したものが半数以上を占め、これらの対策や耐震化対策が重要な課題。厳しい財政状況の中、部局横断的な取組む必要がある。また県有施設情報の一元化・共有化を図るため「県有財産管理推進本部」を設置し、耐震化や改修・建替えを優先的に実施する等、保全措置を講じ、財政負担の平準化を図っている。政府関係機関の地方移転については、来年度以降も継続する。しかし、政府の方針は明らかにされておらず、その動向を注視している。



## 私の議員生活の テーマと言っても 過言ではない 障害者政策

菊池伸英Q. 障がい者への差別の現状をどう認識しているのか。障がい者雇用における差別解消に向けて、どのように取り組んでいるのか。障がいの種別に応じた相談体制の整備状況はどうか。

A. 答弁(抜粋) II 平成26年度に実施したアンケートでは、23.1%の方が差別を経験、41%の方が障がい者への理解が進んでいないと感じている。普及啓発や交流促進に取り組む予定。また、愛媛労働局等との共催で、高齢・障害者雇用フェスタや障害者雇用促進セミナーを設置し、事業者への理解促進等に取り組んでいる。福祉総合支援センターに広域専門相談員を配置する予定、今後とも、相談体制の充実に努める。



菊池伸英Q. 全国障害者スポーツ大会において、障害の種別に応じてきめ細かく配慮するため、どう対応するのか。

A. 答弁(抜粋) II 施設面では、ユニバーサルデザインに配慮し、誰もが使いやすい会場づくりに取り組む。また、運営面では、手話等による情報提供、選手の介助・誘導等の各種ボランティアの養成、障害特性に配慮した宿泊施設の提供、移動負担の少ない輸送体制を構築、選手等が心身ともに良好な状態で大会に臨めるよう、準備を行っている。

## 愛媛「県」と松山「市」の行政責任とは？

# 分水と産廃問題

菊池伸英Q. 西条工水の経営改善と松山分水は、本当に切り離せる問題なのか。松山市の工業用水道の需給状況はどうなっているのか。西条工水の累積欠損金解消に向け、老朽化施設の更新も含め、今後どのように対応していくのか。

A. 答弁(抜粋) II 西条地区工業用水道事業は、「経営改善計画」に基づき、計画給水量を縮小し経営改善を図っている。松山市の水問題と西条工水の経営改善とは別の問題である。なお、この未利用水の有効活用については、「水問題に関する協議会」で、西条の水を守ることを最優先に検討を進めているところである。松山市の工業用水道は、企業の需要に応じて給水されており、給水量については、余剰水は生じていない結果となっている。西条地区工業用水道事業は、単年度収支の黒字を維持しながら、売水促進に取り組み、累積欠損金の解消を図っている。なお、西条工水の老朽化は軽微であるという調査結果から、当分は施設更新を行う必要はないと考えている。

菊池伸英・議会への所見  
右記、黄色の部分『需要に依じているから余剰が生じない』のであれば、企業需要がゼロでも余剰が生じないことになってしまいませんか？  
西条の水を最優先に守るのなら、松山工水の転用も考えるべきではないか。分水については西条と松山の双方のメリット、デメリットを明確にし、その判断材料をもって妥協点を見出していくことが重要。松

山市において十年前に出された日量4万8千トンという取水量についても人口減少や異常気象などを踏まえ再算出しているため、その数字が出た時点で再度検討することになると考える。

菊池伸英Q. 松山市における産業廃棄物処理施設の問題事案についてどう検証し、どのような再発防止策を実施するのか。不適正処理事案に対処できるマニュアルの作成など、ルールの明文化にどう取り組んでいくのか。

A. 答弁(抜粋) II 県においては、従来から、不適正処理事案に対して、公平、適正かつ迅速に行政処分を実施するため、国の「行政処分処理基準」に即した「愛媛県産業廃棄物許可業者行政処分取扱要領」を定め、HPに公表するとともに、適切な運用に向け、毎年度、県の廃棄物行政担当者会等で情報共有を図っている。

菊池伸英の答弁に関する所見  
松山市の産業廃棄物最終処分場の問題は、国の予算化によって解決の方向に向かっていくが産廃処理施設の許認可の権限は市民や議員にはなく行政にあるのはご案内の通り。従って一番の責任は業者にあるが、行政の対応が十分でなかったことも一因である。二度とこのような事例が生じないように行政は法律に基づいて許可を出した業者に対して責任を果たすためにも指導・監督・管理の徹底が不可欠である。

